寄 棟 の 家

Mアトリエ ／ 岡村未来子

既存の樹木や生垣をいかし、水平ラインを強調した南側外観

周辺の四季折々の緑を残し、景色に馴染む佇まいの家。

寒暖差の厳しい場所のため、パッシブデザインと断熱気密を心掛け、軒を深く、南東に大きな開口を設け、トリプルガラスを要所に配し、気密のよい木製建具を美しく納めるよう工夫した。　屋根は断熱と通気を確保しつつ薄く納め、適所に天窓で温熱環境を制御し、室内に美しい陰影を作り出している。

リビングは東に豊かな庭につながる全開口の窓を、南は道路と間合いをとり、緑を増やして連続窓を、それぞれガラス、簾、太鼓障子の三層仕立てとし、視線と温熱に配慮、ベンチでつなげ窓辺の居場所を作り出した。天井はさわら張りの勾配天井とし、構造の工夫で棟柱をなくし、広々とした空間を確保。キッチンの裏手にあるユーティリティは回遊動線で使いやすく見えづらい配置としている。

住宅デザイン学校をきっかけにした施工者との出会いも、性能、構造など協力して進めることができ、お互い次への一歩となった。

主な外部仕上
屋根：ガルバリウム鋼板横葺き
外壁：モルタル下地ナノコンポジット仕上
軒裏：さわら縁甲板　外部用塗装仕上

主な内部仕上
床：ひのき上小節　OF
壁：PB下地　薄塗仕上
勾配天井：さわら縁甲板　OF

主な設備
パッシブエアコン
デマンド換気

所在地　群馬県
施　工　ヤマイチ
敷地面積　　630.75㎡
床面積　1Ｆ　131.10㎡
延床面積　　131.10㎡
竣工　2019年10月末
UA 値 0.34㎡（C値ー）
地域区分　6 地域
耐震等級 3

玄関

軒下を利用した玄関まわり

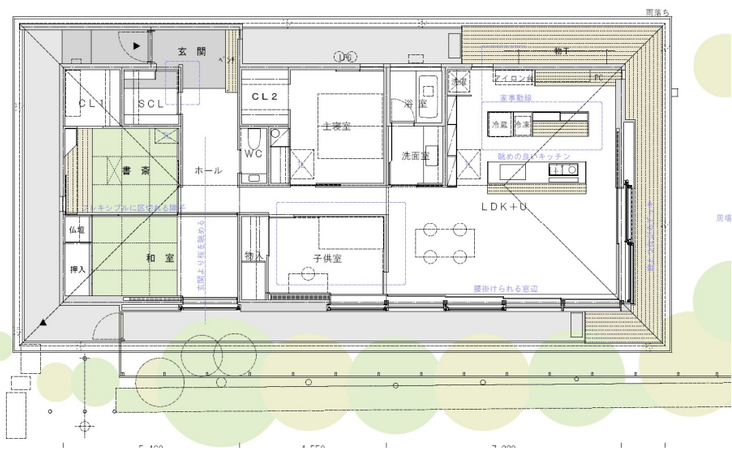
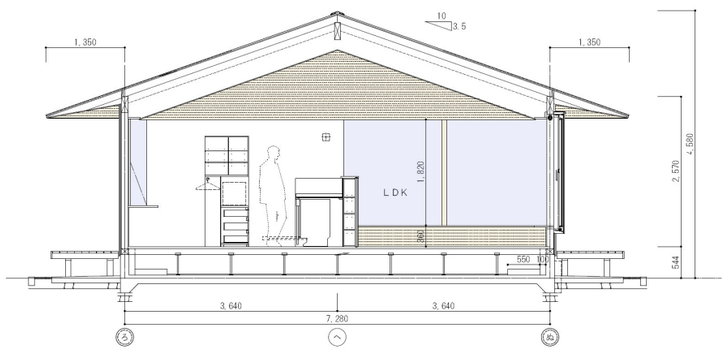
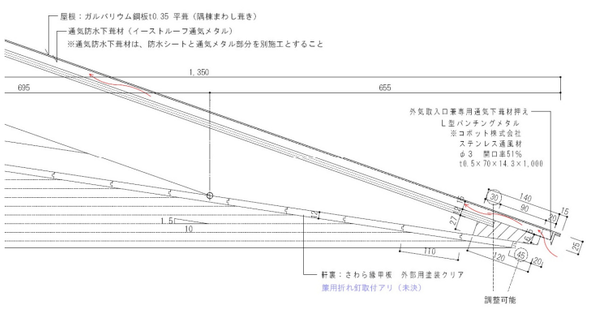
東面のデッキスペースから北面のユーティリティ

庭に奥行きのある東側は全開口窓／柱のない大空間

キッチンから大開口（簾）をみる

桜の見える子供室方向まで続く連続窓

障子で一転落ち着きの空間に

回遊できるユーティリティ

排熱をうながしながら、隣地のケヤキを眺めるＴＬ